

2014年12月5日

JX 日鉱日石エネルギー株式会社
東北支店長 平田 慶介 様
昭和シェル石油株式会社
東北支店長 渡邊 信彦 様

青森県生活協同組合連合会	会長	平野了三
岩手県生活協同組合連合会	会長理事	加藤善正
秋田県生活協同組合連合会	会長理事	大川 功
宮城県生活協同組合連合会	会長理事	宮本 弘
山形県生活協同組合連合会	会長理事	松本政裕
福島県生活協同組合連合会	会長	吉川毅一

(公 印 略)

家庭用灯油に関する要請書

向寒の砌 貴職におかれましてはますますご清栄のことと拝察申し上げます。日頃より生協の諸活動にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東北に住む私たちにとって冬の暖房は不可欠であり、「灯油」はその主力エネルギーとして欠かすことができない生活必需品です。灯油が適正な価格で安定的に供給されることが北国の消費者の願いです。

原油は、2008年に象徴されるように、投機マネーの流入で異常な価格が続いてきました。現在は世界経済の景気低迷等の影響で3年以上続いた1バーレル100ドルという高値水準から、70ドルを割るまでに下落してきました。

しかし、原油の急落にもかかわらず、円安（1ドル115円は7年ぶり）の進行により、原油安が相殺されていることと、4月からの消費税の増税の影響もあり、灯油の市況価格は横ばい状態が続いています。

為替1ドル113～115円、原油が70ドル後半から80ドルだった2007年の10月～11月に配達灯油は18リットル1缶で1600円台でした。現在の1缶1800円を越える価格は、消費者にとって負担となっています。石油元売各社は、原油価格の動きを石油製品の卸価格に反映する値決め方式をこの春から導入しています。原油の下落を速やかに卸価格に反映させるべきです。

また、現在同じ石油製品にもかかわらず、ガソリン・軽油・灯油の中で、灯油の卸価格が比較的高くなっています。このような冬場の灯油価格の状況について、消費者に対し十分な説明をお願いします。

灯油在庫についても心配です。エネルギー供給構造高度化法の影響で原油処理能力が削減され、灯油も低在庫が常態化してしまうのではないかと心配です。気温の変化など不測の事態には、元売会社は製品輸入で補う予定だと報道では伝えられていますが、大寒波や自然災害が起きても、安定供給に対して御社の万全の対応策を望みます。

つきましては、消費者の立場から以下について要望いたします。

記

1. 原油安の状況を、灯油の価格に速やかに適切に反映されるよう要望します。また、灯油の卸価格について十分な説明をお願いします。
2. 安定供給のために、年末年始及び本格的な需要期にむけ万全の体制で臨んでください。

以上